

第119号

# 酪農とちぎ



- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 令和3年乳代集計結果について
- 3 ページ Web検索システム稼働  
『定期検査結果』がメールで届きます
- 4～6 ページ 部課だより（業務部）
- 7 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績
- 折 込 酪農とちぎ機構図



えみちゃん  
コロナ対策

# 令和3年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

## 生乳生産実績

令和3年の年間乳量は25万814tとなり、組合初の25万t超えの実績となりました(表1)。前年と比較すると6.3%増の実績

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量(t)	12月出荷戸数(戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559
平成30年	231,863	409	567
令和元年	232,481	389	598
令和2年	235,882	368	641
令和3年	250,814	350	717

表2 一頭当り乳量 (kg)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
那須高原支所	9,126.1	9,127.7	9,212.0	9,104.0	9,261.8
宇都宮支所	9,082.7	8,881.6	8,830.0	9,206.9	9,348.7
県南支所	8,675.5	8,526.0	8,650.9	8,719.0	8,822.8
平均	9,017.3	8,958.6	9,033.3	9,030.2	9,178.8
前年比		99.3%	100.8%	100.0%	101.6%

です。日量においても、大規模農場新規分場設立に伴う増頭により月を追う毎に前年に比べて差が大きくなってまいります(図1)。一頭あたり乳量(表2)については、令和3年であれば令和3年1月と7月の動態調査により算出しておりますので、年間を通して

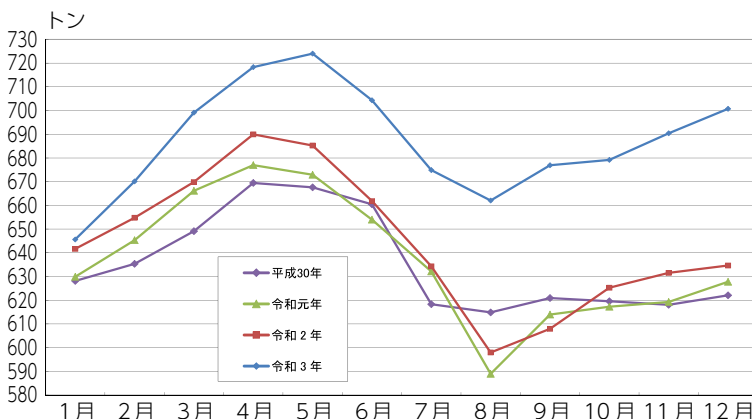


図1 日量の推移

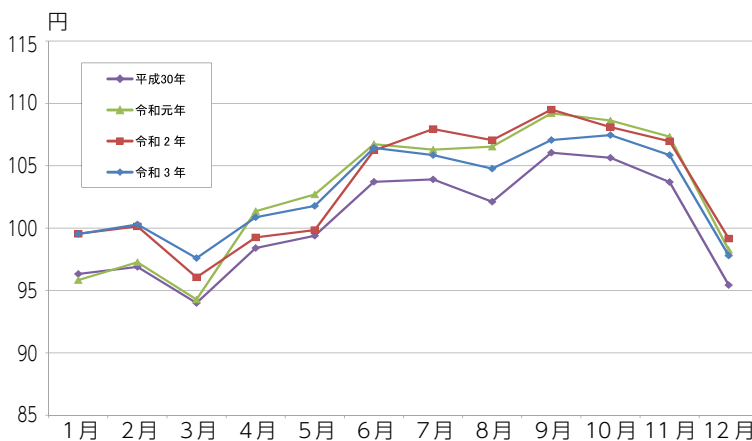


図2 支払乳価 (手数料等控除後、乳質加算前)

## 乳価

増頭傾向にある場合は数値が膨らむ傾向があります。その為やや大きな数値が出ておりますが、およそ例年通りとなっております。

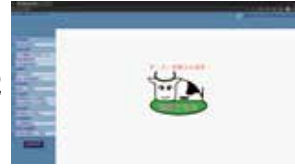
支払い乳価(図2)は4月より組合の手数料を0.1円下げましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う学校の対応(学級閉鎖、臨時休校など)、外食産業による消費の

落ち込みによる加工率の増加が影響し、乳価は前年を下回りました。乳代追加払い(事業分量配当、需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、酪農生産基盤強化対策金、乳代精算払い、集送乳業務委託費精算払い、経営安定対策助成金)におきましては総額4億4392万円お支払いし、年間乳量で除すると1.77円/kgお戻しすることができました。



# Web検索システム稼働

組合との取引情報をインターネット上で閲覧できるサービスを開始しました。組合員の皆様には1月にお知らせさせていたいただきましたが、現在（3月22日現在）のところ40名の方にお申込みいただき、無事稼働しております。毎月乳代送金日頃にデータが更新される仕組みです。閲覧できる情報は次の通りとなります。組合との取引情報をまとめて確認できますので是非ご利用ください。



酪農とちぎ Web 検索

## メニュー紹介

- ▼ **組合員業務**
  - ・ **組合員台帳照会**  
組合員名、住所、電話、口座情報、出資金額などが確認できます。
  - ▼ **原乳受入業務**
    - ・ **受入乳量照会（月次データ）**  
乳量の情報を取得できます。日別の乳量の他、上旬、下旬の検査データも確認できます。
    - ・ **検査成績報告書**  
月4回の検査データを確認できます。主要4成分の他、浸透圧やMUNなども表示されます。

- ・ **月別乳量実績照会**  
4～3月乳量での前年比較、申告乳量の比較ができます。
- ▼ **購買業務**
  - ・ **請求内容照会**  
購買品の請求書を確認できます。
  - ・ **特約・割賦明細照会**  
特約・割賦の精算状況が確認できます。
- ▼ **奨励金業務**
  - ・ **奨励データ照会**  
奨励金、補給金などの履歴が確認できます。
  - ▼ **預り金業務**
    - ・ **経済事業預り金 台帳照会**  
預り金の取引履歴を確認できます。
    - ・ **預託牛事業預り金 台帳照会**  
全酪連預託の預り金を確認できます。
- ▼ **貸付金業務**
  - ・ **組合資金マスタ照会**  
組合資金の履歴、入金状況を確認できます。
  - ▼ **乳代精算業務**
    - ・ **乳代精算書照会**  
乳代精算書、その他控除明細書を確認できます。
    - ▼ **年間乳代精算業務**
      - ・ **年間乳代精算データ照会**  
年間乳代精算データを確認できます。

## 『定期検査結果』がメールで届きます

定期検査の結果をメールで通知できるようになりました。ご希望される方は所轄支所の代表メールアドレスに申込メールを送信願います。

- ▶ 件名に【定期検査結果申込】と記載し、本文に組合員コード、氏名を記入してください。
- ▶ 1戸につき最大で3個のメールアドレスを登録できます。それぞれの端末からメール送信お願い致します。

支所	那須高原	宇都宮	県南
メール	nasukogen@rakunoutochigi.com	utsunomiya@rakunoutochigi.com	kennan@rakunoutochigi.com
QRコード			

### ～メールで確認できる情報～

「生乳検査成績報告書」に記載されている9項目（脂肪率、無脂乳固形率、体細胞数、細菌数、乳蛋白率、乳糖、全固形分率、浸透圧、MUN）、検査の判定（合格、要注意、不合格）

さらに4月からは、3種類の脂肪酸組成「デノボ」・「プレフォーム」・「ミックス」、ケトーシスの指標となる「BHB」、異常風味の指標となる「FFA」の計5項目が追加となります。詳細は、3月上旬に配布した「新しい検査項目のご紹介」をご覧ください。

# 部課だより

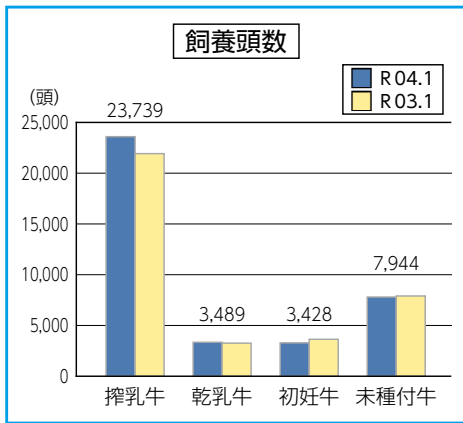
## 業務部

### ● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在の乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

#### 1. 出荷者戸数について

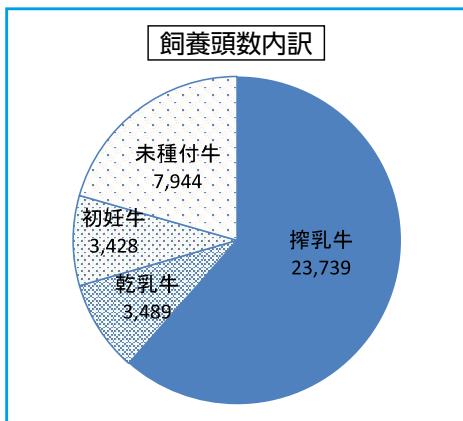
前年1月と比較すると酪農中止は20戸（団体及び部分委託者を除く）となり、出荷者数は前年同月比5・1%減の350戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継



者がいない8戸、経営不振4戸、他業種への転換3戸、病気療養その他5戸でありました。なお、酪農中止20戸の廃業時の合計飼養頭数は319頭でした。一方で、期間中に1戸が出荷休止から復活したため、酪農家戸数は差し引き19戸の減少となりました。

#### 2. 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比6・9%増加し2万7228頭、自家育成牛は前年比2・3%減少し7841頭、外部預託牛は前年比7・2%減の3531



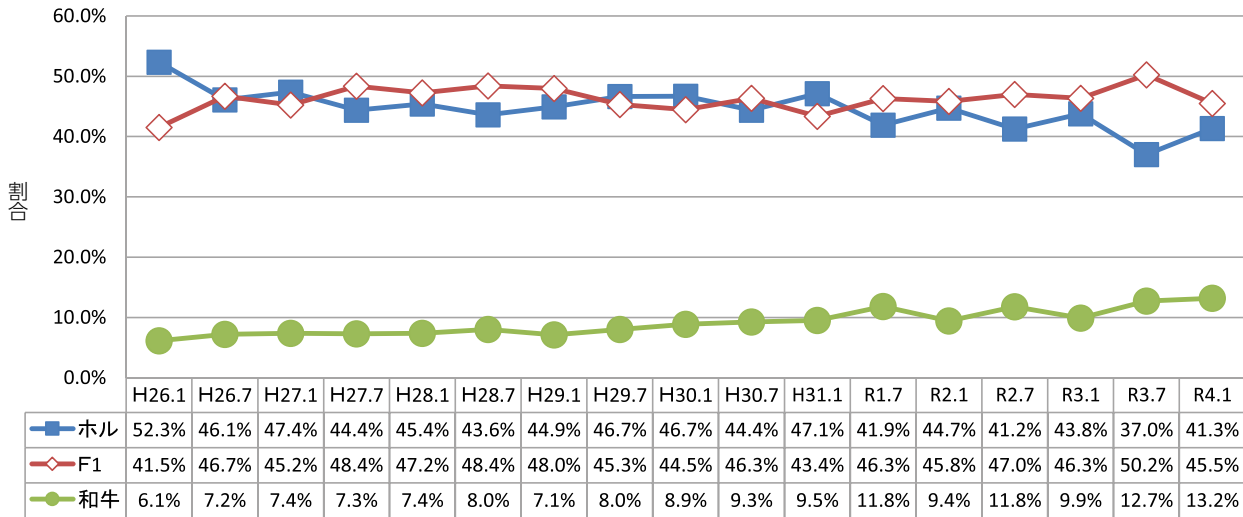
## 令和4年1月度 乳牛飼養動態調査表

(令和4年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛数	月別分娩予定頭数								
			産牛			自家育成牛		外部預託牛		合計			育成牛保有率(%)	(カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は令和3年1月の実績頭数)							
			搾乳	乾乳	小計	初妊牛	未種付牛	初妊牛	未種付牛					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
那須高原支所	R04.1	219	16,151	2,162	18,313	1,756	3,319	638	1,880	25,906	29.31	118.3	960	1,347 (174)	1,310 (184)	1,394 (152)	1,277 (161)	1,100 (125)	1,295 (152)	1,395 (162)	9,118 (1110)
	R03.1	230	14,417	2,111	16,528	1,661	3,572	1,051	1,772	24,584	32.77	106.9	935	1,522	1,374	1,436	1,328	1,066	1,066	1,401	9,193
	増減	▲11	1,734	51	1,785	95	▲253	▲413	108	1,322	▲3.46	11.4	25	▲175	▲64	▲42	▲51	34	229	▲6	▲75
宇都宮支所	R04.1	62	2,764	381	3,145	399	970	126	451	5,091	38.22	82.1	22	271 (52)	215 (53)	211 (34)	181 (32)	146 (28)	198 (45)	204 (43)	1,426 (287)
	R03.1	67	2,737	402	3,139	447	956	139	429	5,110	38.57	76.3	50	274	220	197	177	134	117	255	1,374
	増減	▲5	27	▲21	6	▲48	14	▲13	22	▲19	▲0.35	5.8	▲28	▲3	▲5	14	4	12	81	▲51	52
県南支所	R04.1	69	4,824	946	5,770	374	1,023	135	301	7,603	24.11	110.2	79	464 (36)	469 (64)	402 (30)	391 (18)	337 (15)	395 (14)	473 (27)	2,931 (204)
	R03.1	72	4,916	889	5,805	394	994	90	325	7,608	23.70	105.7	67	515	441	471	359	281	303	445	2,815
	増減	▲3	▲92	57	▲35	▲20	29	45	▲24	▲5	0.41	4.5	12	▲51	28	▲69	32	56	92	28	116
合計	R04.1	350	23,739	3,489	27,228	2,529	5,312	899	2,632	38,600	29.46	110.3	1,061	2,082 (262)	1,994 (301)	2,007 (216)	1,849 (211)	1,583 (168)	1,888 (211)	2,072 (232)	13,475 (1601)
	R03.1	369	22,070	3,402	25,472	2,502	5,522	1,280	2,526	37,302	31.71	101.1	1,052	2,311	2,035	2,104	1,864	1,481	1,486	2,101	13,382
	増減	▲19	1,669	87	1,756	27	▲210	▲381	106	1,298	▲2.25	9.2	9	▲229	▲41	▲97	▲15	102	402	▲29	93



## 調査回別 種付け割合



頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は9.2頭増加し、110.3頭で前年に引き続き増加しています。

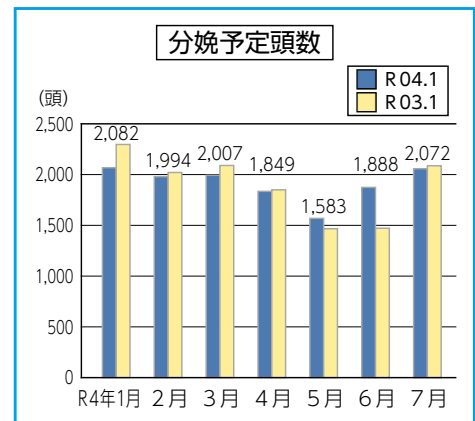
なお、搾乳牛は前年より7.6%増加し2万3739頭、乾乳牛は2.6%増加し3489頭でした。

育成牛（自家・外部預託含む）の保有率は、2.25%減少し29.46%で合計1万1372頭となりました。

### 3. 分娩頭数について

令和4年7月までの分娩予定頭数は、前年同時期分娩実績に比べ93頭増加し1万3475頭となっています。5月・6月が前年の分娩実績より多い分娩となる見込み（5月6.9%の増、6月

27.1%の増）で、この他外部導入が1156頭予定されており、生乳生産量については、春先まで分娩頭数が減少方向で推移しているため、漸減傾向を取ることが予想されます。その後5月・6月に分娩が集中するため増加に転じるものと思われませんが、これら分娩牛が夏〜晩夏に泌乳ピークを迎えるため、暑熱対策をしっかりと行うことが重要であると考えております。



### 4. その他

令和3年7月から12月の品種別分娩実績は、ホル種は前回より0.6%増加し5644頭（分娩実績構成比41.3%。以下同じ。）となり、交雑種は4.6%増加し6210頭（45.5%）となりました。また、和牛ETについては42.1%増加し1799頭（13.2%）となりました。和牛ETの分娩頭数がこの1年で大きく増加しているのは特筆すべき点で、新規に出荷を開始した大規模経営体による影響が大きいものと思われます。



● 栃木県酪農経営ゼミナール全課程修了

今年度、酪農における担い手の育成及び経営体質の強化のため、栃木県内の若手経営者、酪農後継者を対象とし「栃木県酪農経営ゼミナール」が年4回、延べ8日間で行われ、2月10日に全日程が修了しました。



酪農協会臼井会長より修了証書を受け取った受講生

本ゼミナールは経営に特化した内容で、経営分析、経営課題、経営計画、人材マネジメントについて学ぶとともに、自らの意思で参加した県内9名の受講生が活発に意見を交わしました。

受講生からは、「自分の経営のことや今後のことを考えることができて良かった」、「酪農の技術とは別で、経理や人事の内容を学ぶことができてとても良かった」、「自主的に集まったメンバーから刺激を受け、多くのものを得られた」、「このような研修会を今後も継続してほしい」といった声が寄せられました。

経営者としての知識習得のほかに、所属酪農協の枠を超えた交友関係ができたことも、栃木県酪農の発展に寄与する有意義な研修会となったことと思われまます。本ゼミナールは令和4年度も開催される予定です。これからの酪農担い手が、ゼミナールを通して、自立

した経営者となることを期待します。

● 電子乳量計を導入しました

今年度組合全体の乳質は体細胞数が平均20万個/mlを下回る状況で、組合員各位の努力により高品質の生乳をメーカーに供給しております。指導事業においては、搾乳立会を通じてラクトコーダーを使用した乳質改善指導等を行っておりますが、ラクトコーダーについては導入後10年が経過し、さらなる乳質改善指導を強化するために、この度、電子乳量計「ミルフロコーダー」を導入しました。



ミルフロコーダーの取り扱いについて講習を受ける指導担当職員

本機器は、真空圧やパルセーター波形の測定、洗浄評価ができることから、搾乳手順や泌乳生理の確認をするラクトコーダーの機能に加え、搾乳機器が適切に作動しているかを確認することができます。先日、各支所指導担当も本機器の取扱い講習を受け、現場での活用に備えており、今後、積極的に活用してまいります。

● 畜舎特例法が制定されました

令和4年4月から新しい法律「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律」（「畜舎特例法」）が施行されます。都道府県に畜舎建築利用計画の申請を行い、認定を受ければ、建築基準法の適用を受けず、畜舎特例法の基準等により畜舎を建てることができます。詳しくは農水省ホームページをご確認ください。



# 生乳受託課

令和4年2月度の組合生乳生産量は、1万9968t（前年比106.4%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万3729t（前年比111.0%）、宇都宮支所2318t（同97.4%）、県南支所3921t（同97.6%）となり、出荷者数は前年同月より19戸減の349戸（内、学校1）となりました。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率4.00%（前年差+0.05%）、無脂固形分率8.95%（同+0.07%）と乳成分は上がり、体細胞数についても17.57万と前年より2万弱低下し改善されている状況です。

関東生乳販連の2月の総受託乳量は8万2273t（前年比101.1%）となり、13ヶ月連続し前年を上回る状況です。用途別販売数量を見ると、新型コロナウイルスの感染拡大による学乳の減少とはっ酵乳等向けを含む飲用の不振から、加工向けは前年比142.8%と増加しました。

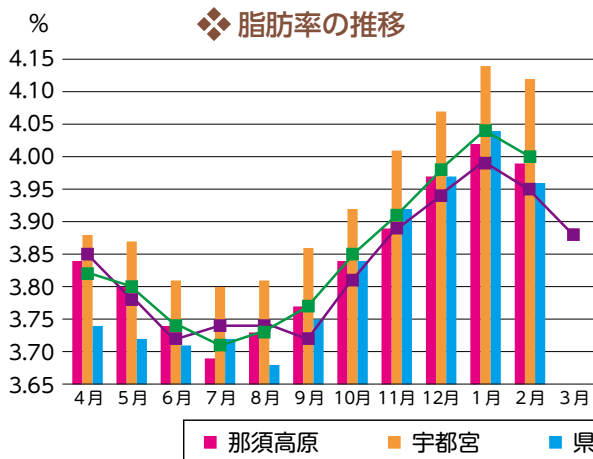
令和3年度 関東生乳販連用途別販売数量 (単位: kg・%)

用途	2月期実績	前年同期実績	前年比	2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	61,762,358	62,952,722	98.1	726,828,974	714,972,789	101.7
(うち学校を除く飲用)	51,886,827	51,970,120	99.8	620,935,390	618,758,306	100.4
(うち学校向け)	9,875,531	10,982,602	89.9	105,893,584	96,214,483	110.1
はっ酵乳向け	10,953,085	11,388,795	96.2	133,456,303	136,615,351	97.7
脱粉・バター等向け	8,468,008	5,929,724	142.8	83,939,336	66,439,193	126.3
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム等向け	1,009,497	1,080,171	93.5	11,482,215	12,389,206	92.7
チーズ向け	80,056	49,512	161.7	1,043,761	696,828	149.8
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	82,273,004	81,400,924	101.1	956,750,589	931,113,367	102.8
脱粉・バター等向け比率	10.29	7.28	-	8.77	7.14	-

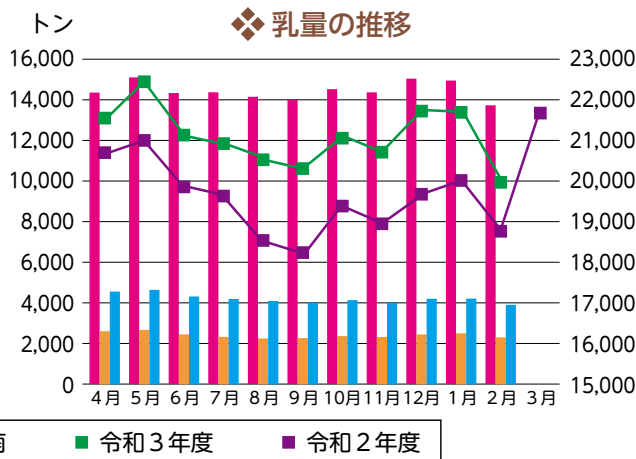
全国の生産量は101.9%と28ヶ月連続で前年を上回りました。北海道が前年比103.5%と36ヶ月連続で上回り、都府県は99.9%と7ヶ月振りに前年を下回りました。

なお、令和4年2月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。

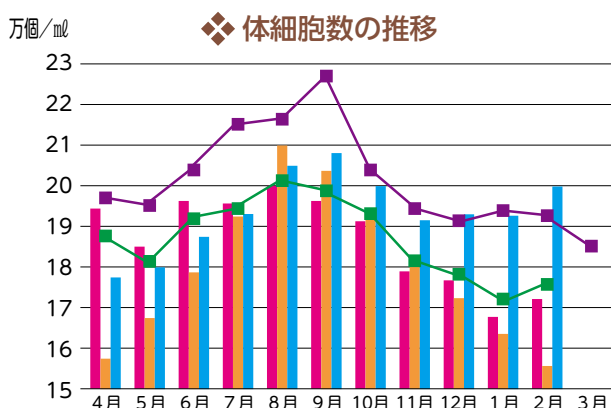
◆ 脂肪率の推移



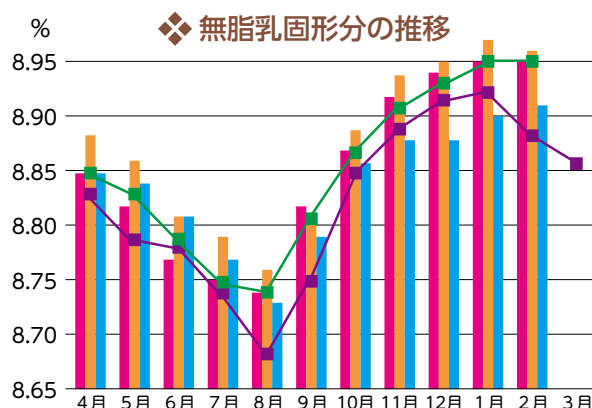
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分の推移



# 理事会だより

## 12月度理事会（12月28日）

- 報告事項**
- (一) 業務経過報告について
  - (二) 年末手当の支給について
  - (三) 組合プール乳価について
  - (四) 生乳生産管理チェックシート
  - (五) 記帳・記録状況について
  - (六) 関東生乳販連情報について
- 協議事項**
- (一) 11月度事業実績について
  - (二) 第21回酪農まつりについて
  - (三) 電子帳簿保存の義務化に係る事務処理規程の設定について
  - (四) 監事の選出区域の配分について
  - (五) 組合と理事との契約について（追認）
  - (六) 固定資産の取得について（追認）
- 1月度理事会（1月31日）**
- 報告事項**
- (一) 組合員加入について
  - (二) 業務経過報告について
  - (三) 組合資金貸付について
  - (四) 組合プール乳価について
  - (五) 特別管理未収金の報告について
  - (六) 乳牛飼養動態調査結果について
  - (七) 子会社の第3四半期事業実績について
  - (八) 関東生乳販連情報について

- 協議事項**
- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について
  - (二) 固定資産の取得について

## 2月度理事会（2月28日）

- 報告事項**
- (一) 業務経過報告について
  - (二) 組合資金貸付について
  - (三) 組合プール乳価について
  - (四) 役員報酬等審議会答申について
  - (五) 道路交通法施行規則の改正と施行について
  - (六) 関東生乳販連情報について
- 協議事項**
- (一) 1月度事業実績について
  - (二) 配合飼料特別緊急対策金措置（案）について
  - (三) 監事の選出区域の配分について

## お知らせ



### 《職員人事》

- 定年退職者（3月31日付）**
- 那須高原CS 名取 亨
- 退職者（3月31日付）**
- 那須高原支所業務推進課 添野 央矩
- 那須高原CS（臨時） 月井 愛唯

### 新規採用者（4月1日付）

- 那須高原支所業務推進課 大原 秋名
- 那須高原CS（臨時） 高柳 一徳
- 那須高原CS（臨時） 平山未来也
- 定期異動（4月1日付） 別添「酪農とちぎ機構図」のとおり

### 《2023年4月新規採用職員募集》

#### 募集人数

若干名

#### 願書受付期間

2022年4月25日(月)必着

#### 採用試験日時

一次選考 筆記(総合適性テスト) 2022年5月14日(土)

二次選考 面接 2022年5月27日(金)

申込先 栃木県宇都宮市 平出工業団地6-1-7

#### 申込先

〒321-0905 酪農とちぎ農業協同組合

総務部総務課

TEL 028-660-2211

※詳細については、当組合ホームページにてご確認ください。

「第21回酪農まつり」は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、開催を中止とさせていただきます。

### 第21回酪農まつり開催中止について

「第21回酪農まつり」は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、開催を中止とさせていただきます。

「第21回酪農まつり」は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、開催を中止とさせていただきます。

「第21回酪農まつり」は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、開催を中止とさせていただきます。

### 2月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円 (税込)]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月2日	682	579	84.9%	664	106	100	878
根室	2月3日	463	394	85.1%	595	46	38	773
釧路	2月15日	364	342	94.0%	574	15	14	884
北見	2月16日	429	396	92.3%	593	19	19	851
十勝	2月17日	642	592	92.2%	675	112	95	847
根室	2月24日	376	340	90.4%	624	55	47	798
合計		2,956	2,643	89.4%	621	353	313	839
前月		2,148	1,882	87.6%	605	209	185	818
前年同月		3,181	1,944	61.1%	776	178	169	975

初妊牛の今後の動向は6月～7月分娩が中心となります。道内の資源状況としては雌雄判別腹・F1腹共に十分に確保出来る見通しとなっています。春分分娩のシーズンが終了し、例年価格が下降基調を取る夏分分娩が上場するシーズンとなる点や、生乳生産環境等を勘案すると、今後の相場はおおむねやや弱含みで推移するものと思われ、導入を希望される方は腹条件、分娩月をご検討の上での申し込みをよろしくお願い申し上げます。

### 2月度 県内家畜市場成績 [単位：円 (税込)]

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須	F1雄	57	55	64	271,700	16,500	154,580	▲17,138
	F1雌	83	82	63	177,100	53,900	115,910	▲3,670
	ホルズ雄	87	87	67	170,500	23,100	105,050	▲19,266

今回の初生牛相場は前回から比較して、全畜種で弱含みで推移しています。F1雄の相場動向を見ますと、前回(2/20)比では17千円のマイナスとなっています。回ごとに平均価格の上下は発生していますが、全体の傾向として昨年秋口からゆるやかな下降線をたどっている状況です。例年春先～夏に向けて価格は上昇基調となることが多く(コロナ禍であった昨年も同様傾向)、今後もちあひ～やや強含みで推移するものと思われます。引き続き経済状況、コロナウィルスの感染状況・緊急事態宣言等の外的要因で予測不能な動きをする可能性もありますので、注視していく必要があります。





酪農とちぎ機構図(令和4年4月1日着任)

注：青太字は異動者  
 注：○でアンダーは昇進者  
 注：☆は昇格者

